

平成 20 年度当初予算 施策別概要

3 2 5 感染症対策の推進

(主担当部 : 健康福祉部)

32501 感染症危機管理体制の確保 (健康福祉部)

32502 感染症予防および治療体制の充実

(健康福祉部)

32503 感染症対策のための調査研究・試験検査

の推進 (政策部科学技術振興センター)

< 施策の目的 >

(対象) 県民一人ひとりが

(意図) 感染症の被害から守られている

< 施策の数値目標 >

施策目標項目 (主指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H22 年度
一、二、三類感染症の集団発生事例数	目標値	-	0 件	0 件	0 件
	実績値	0 件			

県内における一、二、三類感染症の集団発生事例の数

施策目標項目 (副指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H22 年度
感染症情報提供登録者数	目標値	-	1,040 件	1,060 件	1,100 件
	実績値	1,031 件			
H I V 抗体検査件数	目標値	-	909 件	934 件	984 件
	実績値	884 件			

< 進捗状況 (現状と課題) >

- ・ 感染症対策については、これまで、「三重県感染症予防計画」および「三重県結核対策基本計画」に基づき実施してきました。今後も、新しい感染症の出現や輸入感染症の発生に備えた対策の充実とともに、増加が予想される抵抗力の弱い高齢者への対応が求められています。
- ・ 感染症の発生時においては、迅速な拡大防止対策が重要であることから、情報収集、調査研究及び病原体検出能力向上など危機管理対策の充実が課題です。
- ・ また、感染症は他人に「うつる」病気としての意識が強いことから、患者の人権を尊重した対応が重要です。

< 平成 20 年度の実施方法 >

感染症の発生動向を調査し、三重県感染症情報センターのホームページや電子メール等により、県民、医療機関、関係施設等に感染症発生情報を迅速に提供します。

新たな感染症等の発生に対応するため、情報の迅速な収集と適切な提供を目的とした「感染症危機管理システム (体制)」の充実を図ります。

新型インフルエンザの発生に備え、引き続き防疫資材の確保を行うとともに図上訓練・実地訓練を実施します。

エイズ対策を推進するため、人権に配慮した啓発活動、相談・指導、検査 (無料、即日、夜間) 等を行います。

津保健福祉事務所総合検査室におけるさまざまな検査について、迅速かつ正確な検査結果の提供を行います。

< 主な事業 >

結核・感染症発生動向調査事業【基本事業名：32501 感染症危機管理体制の確保】

予算額： 21,965千円 20,490千円

事業概要：「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症の情報を迅速に収集、解析し、県民、医療機関等へ情報提供を行い感染症の蔓延を未然に防止する。

感染症危機管理システム事業【基本事業名：32501 感染症危機管理体制の確保】

予算額： 3,714千円 3,537千円

事業概要：地域感染症ネットワーク、三重県感染症情報センターによる感染症の探知、調査、情報提供を行うシステム（体制）の推進を図る。

防疫対策事業【基本事業名：32501 感染症危機管理体制の確保】

予算額： 214,065千円 33,981千円

事業概要：感染症に対応するため、防疫資材の備蓄、感染症指定医療機関の整備、研修・訓練を行う。

エイズ等対策事業【基本事業名：32502 感染症予防および治療体制の充実】

予算額： 7,606千円 8,660千円

事業概要：エイズのまん延防止を図る為、検査・相談体制の整備、人権を尊重した啓発を行う。

保健所検査機能整備事業【基本事業名：32502 感染症予防および治療体制の充実】

予算額： 12,923千円 15,305千円

事業概要：感染症等において正確で迅速な検査結果を提供できるよう検査機器の整備、検査技術向上のための研修に派遣する。